JR東日本ニュース

2021 年 10 月 5 日
東日本旅客鉄道株式会社

列車を活用した輸送サービスのビジネス化

～定時性、速達性、そして環境に優しい新たな物流の本格展開～

○ JR 東日本では、新幹線をはじめとする列車の速達性・定時性を活用した荷物輸送サービスについて、さまざまな輸送トライアルや実証実験を重ね、輸送マーケットの把握を進めてきました。
○ このたび、列車による荷物輸送サービスの名称を決定し、新たなビジネスとして本格的に展開していきます。
○ 今後も、列車を活用した輸送サービスにより地域とモノをつなぐことで、地域の魅力発信を行い、人々の豊かなくらしづくりや物流業界の課題解決に向けた取り組みに貢献していきます。

1．サービス名称について

列車による荷物輸送サービスの名称を以下のとおり決定しました。

名称：はこビュン

※「はこビュン」は東日本旅客鉄道株式会社で商標登録出願中です。

＜ロゴデザイン＞

はこビュン
即日お届け列車便

荷物のイメージである「箱」と「運ぶ」をかけて「はこ」、そして新幹線や在来線特急列車などでスピーディに「ビュン」とお届けするイメージを、名称とロゴデザインに込めています。なお、10 月 1 日から開始している、東京⇔仙台駅・新潟駅で「すぐに運んでほしい」というニーズにお応えする新サービスは、今後「はこビュン Quick」として展開します。

はこビュンの名称やロゴデザインは、宣伝活動や輸送した商品 POP などに活用し、より多くのお客さまに親しみを持っていただくことで利用の促進を図ります。

＜ロゴマークの展開イメージ＞

例 1：ポスター

例 2：店頭宣伝物

例 3：商品シール

2．さまざまな取り組みについて

■客室を活用した多量輸送

車販準備室だけでなく客室を活用することで 100 箱程度の輸送が可能に。

(新潟駅、新青森駅)

■JR 他社との連携

JR 北海道や JR 西日本との連携により函館や金沢から新鮮な商品の輸送が可能に。

(新函館北斗駅、金沢駅)

■下り列車の活用

商品が集中する首都圏から地方都市へ商品を輸送することが可能に。

地方都市にて大規模催事を実施。

(新潟駅、ほか)

■新鮮な商品の輸送

鮮度が重要な朝どれとうもろこし、朝しぼり日本酒など貴重な商品をエキナカなどにて展開。

(新青森駅、ほか)

■「すぐに運んでほしい」」ニーズへの対応

(はこビュン Quick の展開)

発車 30 分前までの荷物受付で輸送。

精密機械部品や医療品の輸送も検討中。

(東京駅、仙台駅、新潟駅)

■エキナカからエキソト輸送へ

新鮮朝どれ商品が夕方にはエキソトの小売店や飲食店へ。

(東京駅、ほか)

■大宮駅の物流拠点化

利用頻度の低いホームを活用し、物流拠点として多量輸送ニーズのある大宮駅へ輸送が可能に。

(大宮駅)

■在来線特急の活用

在来線特急でそれぞれエリアの地産品を首都圏のエキナカへ。

(踊り子、あずさ、ひたち、ほか)

３．今後の展開について

これまで実施してきた取り組みをビジネスとして本格的に展開していきます。

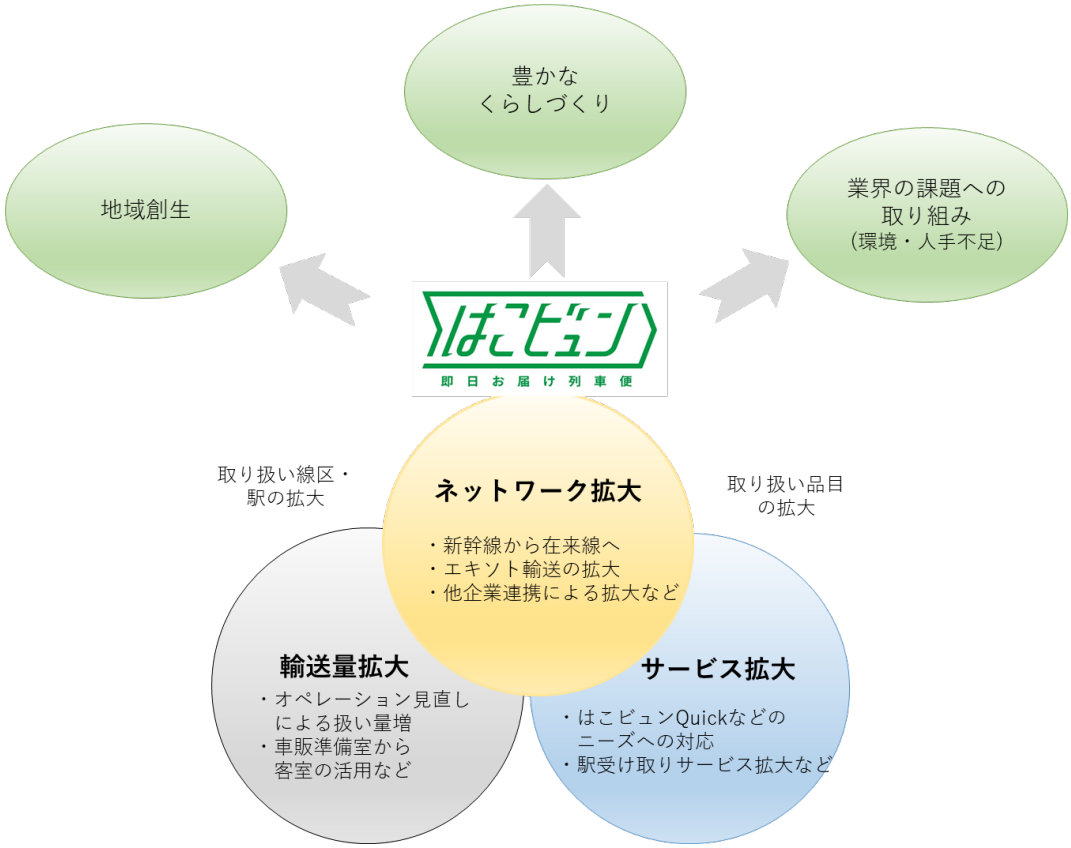
・「はこビュン Quick」を活用した取り扱い商品の拡大

・スーパーマーケットなどの食品小売店や飲食店、百貨店に向けた定期輸送の強化

・地方駅などへ商品を輸送する下り列車の積極的活用

・駅での受け取り箇所の拡大

ヒトとモノとで地域をつなぎ、JR 東日本だからこそできる「地域創生」と「人々の豊かなくらしづくり」を進めていきます。



【参考】列車による輸送サービスのスキーム

JR 東日本グループにて物流事業を担う株式会社ジェイアール東日本物流(以下、「JR 東日本物流」)が、荷主のお客さまより輸送の発注を受け、列車を活用した輸送をコーディネートし、JR 東日本は列車による輸送部分を担います。

■はこビュンの具体的なサービス内容は以下をご参照ください。(JR 東日本物流のホームページ)

URL　：　http://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/shinkansen.html

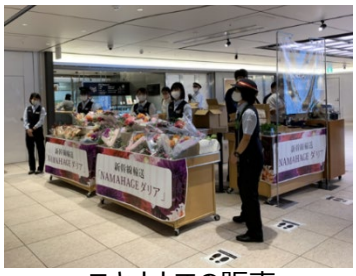
【参考】これまでの主な取り組み経緯について

年	月	件名	概要
2017	7	**新幹線による荷物輸送のサービス開始**	新潟駅・山形駅・郡山駅・那須塩原駅・長野駅から野菜や果物を輸送し、東京駅で「朝どれ新幹線マルシェ」を実施
	8	**初の上り定期輸送**	郡山駅から東京駅の地産品ショップ「のもの」向けに地域菓子の輸送を開始
	10	**初の下り定期輸送**	東京駅から郡山駅の NewDays 店舗向けにオリジナル菓子パンの輸送を開始
2018	11	**日本郵便（ＪＰ）と連携した初の輸送**	仙台駅から東京駅へいちごを輸送
	12	**地方駅から東京駅への駅弁の輸送**	「駅弁味の陣 2018」の受賞駅弁などを輸送
2020	2	**ＪＲ西日本と連携しての初の輸送**	金沢駅から東京駅へ富山県産鮮魚類を輸送
	8	**ＪＲ北海道と連携しての初の輸送**	新函館北斗駅から東京駅へ函館エリアの活魚を輸送
		客室を活用した輸送トライアルを実施	仙台駅から東京駅へ
	9	**初の在来線特急の活用**	伊豆急下田駅から東京駅へ「踊り子号」にて伊豆産の鮮魚類を輸送
	10	**朝どれの鮮魚類の定期輸送を開始**	仙台駅から東京駅へ
		初の在来線普通列車の活用	郡山駅から会津若松駅へ磐越西線にてオリジナル駅弁を輸送
	12	**地方都市における大規模催事への輸送の実施**	東京駅から盛岡駅へ「グランスタ東京」の菓子・弁当類を輸送（出前！グランスタ東京 in 盛岡）
2021	4	**エキソト向けへの輸送を開始**	ＪＲ北海道と連携し、新函館北斗駅から東京駅を経由し市中飲食店舗等へ、鮮魚類の定期輸送を開始
	5	**エキソト向け輸送の拡大**	ＪＲ西日本と連携し、金沢駅から東京駅を経由し都内の小売店舗へ鮮魚類を輸送
	7	**朝どれの鮮魚類の下り定期輸送を開始**	東京駅から長野駅へ
	7～8	**大宮駅で荷下ろしを行う輸送トライアルを実施**	上越新幹線（新潟駅から大宮駅へ）と東北新幹線（新青森駅から大宮駅へ）を活用し、約 100 箱を輸送
	10	**「はこビュン Quick」のサービス開始**	東京駅⇔仙台駅・新潟駅。従来から対象列車本数を拡大

■荷主のお客さまからの声

〇他にはない物流手段として、取引先への新規提案に活用でき、メリットを感じている。これからも輸送規模を拡大したい。（食品卸売業）

〇市場流通より２～３日早く店舗納品ができ、メリットを感じている。新幹線で輸送をした花の売上が好調で、他の花の購入にもつながっている。（花き小売業）



エキナカでの販売

■納品先のお客さまからの声

〇新潟の朝どれ鮮魚は非常に売れ行きが良い。トライアルで 2 店舗から始めたが、現在は 4 店舗で展開をしており、今後も店舗数を増やす検討をしている。（食品スーパー）

〇金沢の甘えびは、お客さまにも非常に好評である。市場流通とは明らかに違い高鮮度であるため、お客さまにもその品質の良さがしっかりと伝わっている。（総合スーパー）